

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成25年4月12日
【四半期会計期間】	第71期第3四半期（自平成24年12月1日至平成25年2月28日）
【会社名】	ダイト株式会社
【英訳名】	Daito Pharmaceutical Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大津賀 保信
【本店の所在の場所】	富山県富山市八日町326番地
【電話番号】	076（421）5665（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員経営企画室長 埜村 益夫
【最寄りの連絡場所】	富山県富山市八日町326番地
【電話番号】	076（421）5665（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員経営企画室長 埜村 益夫
【縦覧に供する場所】	ダイト株式会社東京支店 （東京都千代田区内神田三丁目6番2号） ダイト株式会社大阪支店 （大阪府大阪市中央区道修町二丁目3番8号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第70期 第3四半期連結 累計期間	第71期 第3四半期連結 累計期間	第70期
会計期間	自平成23年6月1日 至平成24年2月29日	自平成24年6月1日 至平成25年2月28日	自平成23年6月1日 至平成24年5月31日
売上高(千円)	19,759,210	21,159,958	27,151,470
経常利益(千円)	1,925,396	1,737,127	2,572,394
四半期(当期)純利益(千円)	1,085,338	1,125,713	1,389,140
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,084,590	1,617,808	1,328,064
純資産額(千円)	11,273,195	14,082,519	11,516,669
総資産額(千円)	30,839,273	34,763,188	29,909,522
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	121.18	125.32	155.10
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	36.6	39.7	38.5

回次	第70期 第3四半期連結 会計期間	第71期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年12月1日 至平成24年2月29日	自平成24年12月1日 至平成25年2月28日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	24.00	23.86

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動については、安徽微納生命科学技術開発有限公司を連結子会社としております。なお、安徽微納生命科学技術開発有限公司は平成24年11月末に大桐製薬(中国)有限責任会社に社名を変更しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等の効果で緩やかに回復しつつあるものの、欧米の財政リスクや新興国の成長鈍化による影響から、先行き不透明な状況にありましたが、12月に発足した新政権による経済政策への期待感から輸出や生産が回復する兆しが見られました。一方で、雇用・所得は依然として伸び悩む等、内需本来の回復力はいまだ脆弱であり、依然として先行きが懸念される状況で推移いたしました。

医薬品業界におきましては、後発医薬品調剤体制加算の見直し等によるジェネリック医薬品の使用促進が引き続き推進される一方で、国内外における企業間競争の激化等もみられ、厳しい経営環境での推移となりました。

このような状況のもと、当社グループは生産活動の充実を図りながら積極的な営業活動を展開し、その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は21,159,958千円（前年同期比7.1%増）、営業利益は1,842,708千円（前年同期比6.3%減）、経常利益は1,737,127千円（前年同期比9.8%減）、四半期純利益は1,125,713千円（前年同期比3.7%増）となりました。

販売品目ごとの状況をみますと、原薬では血圧降下剤原薬、アレルギー性疾患治療剤原薬及び解熱鎮痛消炎剤原薬などのジェネリック医薬品向け原薬の販売が好調に推移いたしました。

製剤では、医療用医薬品において、自社開発のジェネリック医薬品の販売が好調に推移したものの、国内大手医薬品メーカーからの製造受託が減少いたしました。また一般用医薬品においては、市場自体の伸び悩み等の影響もあり引き続き厳しい状況で推移いたしました。

健康食品他につきましては、新商品の販売等により、堅調に推移いたしました。

（2）財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より4,853,666千円増加し、34,763,188千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加2,244,417千円、受取手形及び売掛金の増加574,496千円、原材料及び貯蔵品の増加783,345千円並びに投資有価証券の増加762,403千円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末より2,287,816千円増加し、20,680,668千円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加472,992千円、短期借入金の増加1,650,000千円並びに長期借入金の増加785,114千円などがあった一方で、未払法人税等の減少546,162千円などがあったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より2,565,850千円増加し、14,082,519千円となりました。これは主に、新株式発行に伴う資本金及び資本剰余金の増加956,208千円、利益剰余金の増加857,013千円、並びにその他有価証券評価差額金の増加369,334千円などがあったことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末より1.2ポイント増加し、39.7%となっております。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（4）研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は928,842千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,000,000
計	28,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年2月28日)	提出日現在発行数(株) (平成25年4月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,756,968	9,885,968	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数100株
計	9,756,968	9,885,968	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】
 該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】
 該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年2月20日 (注)1	800,000	9,756,968	478,104	3,043,207	478,104	2,929,398

(注)1. 公募による増資 発行価格1,275円 発行価額1,195.26円 資本組入額597.63円

2. 平成25年3月21日を払込期日とする第三者割当による増資により、発行済株式総数が129,000株、資本金及び資本準備金がそれぞれ77,094千円増加しております。

(6) 【大株主の状況】
 当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年11月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,946,800	89,468	-
単元未満株式	普通株式 9,868	-	-
発行済株式総数	8,956,968	-	-
総株主の議決権	-	89,468	-

(注)平成25年2月20日付けの公募による株式の発行(800,000株)の実施により、当第3四半期会計期間末日現在の発行済株式総数は9,756,968株となっております。また平成25年3月21日付けの第三者割当による株式の発行(129,000株)の実施により、当四半期報告書の提出日現在の発行済株式総数は、9,885,968株となっております。

【自己株式等】

平成25年2月28日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ダイト株式会社	富山県富山市八日町326番地	300	-	300	0.00
計	-	300	-	300	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年12月1日から平成25年2月28日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年6月1日から平成25年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,572,218	3,816,636
受取手形及び売掛金	8,520,910	9,095,407
商品及び製品	568,687	873,445
仕掛品	1,616,840	1,805,225
原材料及び貯蔵品	1,233,157	2,016,502
その他	745,461	930,301
貸倒引当金	71,717	70,170
流動資産合計	14,185,557	18,467,348
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,669,361	7,025,422
機械装置及び運搬具(純額)	2,721,016	3,856,351
その他(純額)	3,939,512	2,320,823
有形固定資産合計	13,329,890	13,202,597
無形固定資産	483,648	560,728
投資その他の資産		
投資有価証券	1,429,749	2,192,152
その他	542,056	399,323
貸倒引当金	61,380	58,960
投資その他の資産合計	1,910,424	2,532,515
固定資産合計	15,723,964	16,295,840
資産合計	29,909,522	34,763,188
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,002,864	3,475,856
短期借入金	3,090,000	4,740,000
1年内返済予定の長期借入金	2,384,186	2,701,082
未払法人税等	609,777	63,615
引当金	81,409	198,713
その他	3,046,634	3,105,031
流動負債合計	12,214,872	14,284,300
固定負債		
社債	100,000	-
長期借入金	4,597,346	5,065,565
退職給付引当金	253,658	217,976
その他の引当金	4,700	6,700
負ののれん	1,565	156
その他	1,220,709	1,105,969
固定負債合計	6,177,979	6,396,368
負債合計	18,392,852	20,680,668

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,565,103	3,043,207
資本剰余金	2,451,294	2,929,398
利益剰余金	6,310,073	7,167,087
自己株式	385	421
株主資本合計	11,326,085	13,139,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	190,966	560,300
為替換算調整勘定	381	85,987
その他の包括利益累計額合計	190,584	646,288
少数株主持分	-	296,959
純資産合計	11,516,669	14,082,519
負債純資産合計	29,909,522	34,763,188

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】

【 四半期連結損益計算書 】

【 第 3 四半期連結累計期間 】

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 6 月 1 日 至 平成24年 2 月29日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 6 月 1 日 至 平成25年 2 月28日)
売上高	19,759,210	21,159,958
売上原価	15,573,215	16,788,856
売上総利益	4,185,995	4,371,101
返品調整引当金繰入額	3,731	467
差引売上総利益	4,182,263	4,370,633
販売費及び一般管理費	2,215,651	2,527,924
営業利益	1,966,612	1,842,708
営業外収益		
受取利息	37	247
受取配当金	36,482	37,827
負ののれん償却額	1,409	1,409
為替差益	7,328	-
その他	70,579	41,862
営業外収益合計	115,837	81,346
営業外費用		
支払利息	121,452	98,145
為替差損	-	73,762
その他	35,600	15,019
営業外費用合計	157,053	186,927
経常利益	1,925,396	1,737,127
特別利益		
補助金収入	7,000	-
ゴルフ会員権売却益	126	-
受取保険金	-	65,513
負ののれん発生益	-	58,494
その他	-	3,200
特別利益合計	7,126	127,207
特別損失		
固定資産売却損	13	-
固定資産除却損	33,157	53,914
投資有価証券評価損	17,504	-
固定資産圧縮損	7,000	-
その他	1,926	-
特別損失合計	59,601	53,914
税金等調整前四半期純利益	1,872,920	1,810,420
法人税等	787,582	684,927
少数株主損益調整前四半期純利益	1,085,338	1,125,493
少数株主損失 ()	-	219
四半期純利益	1,085,338	1,125,713

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,085,338	1,125,493
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	751	369,334
為替換算調整勘定	3	122,979
その他の包括利益合計	747	492,314
四半期包括利益	1,084,590	1,617,808
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,084,590	1,581,417
少数株主に係る四半期包括利益	-	36,390

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間（自平成24年6月1日至平成25年2月28日）

第2四半期連結会計期間より、安徽微納生命科学技術開発有限公司を子会社としたため、連結範囲に含めております。なお、安徽微納生命科学技術開発有限公司は平成24年11月末に大桐製薬（中国）有限責任会社に社名を変更しております。

【会計方針の変更】

当第3四半期連結累計期間（自平成24年6月1日至平成25年2月28日）

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、当社においては平成24年6月1日以後、国内連結子会社においては平成24年4月1日以後取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ100,191千円増加しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間（自平成24年6月1日至平成25年2月28日）

該当事項はありません。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間（自平成24年6月1日至平成25年2月28日）

該当事項はありません。

【注記事項】

（四半期連結貸借対照表関係）

債務保証

次の会社の武田薬品工業(株)からの買掛債務に対して債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成24年5月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)	
アボットジャパン(株)	121,695千円	アボットジャパン(株)	171,486千円
(株)富士薬品	56,858	(株)富士薬品	93,461
キョーリンリメディオ(株)	15,262	日医工(株)	39,644
日医工(株)	11,513	パナケイア製薬(株)	29,560
テイカ製薬(株)	8,150	佐藤薬品工業(株)	12,650
東洋製薬化成(株)	6,657	キョーリンリメディオ(株)	8,420
常盤薬品工業(株)	2,921	内外薬品(株)	5,216
佐藤薬品工業(株)	1,538	常盤薬品工業(株)	2,608
東亜薬品(株)	1,304	第一薬品工業(株)	1,600
大和製薬(株)	260	東亜薬品(株)	1,304
合計	226,162	合計	365,951

（四半期連結損益計算書関係）

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成24年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)
減価償却費	1,651,075千円	1,892,132千円
負ののれんの償却額	1,409	1,409

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成24年2月29日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年8月26日 定時株主総会	普通株式	179,134	20	平成23年5月31日	平成23年8月29日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年8月28日 定時株主総会	普通株式	268,699	30	平成24年5月31日	平成24年8月29日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には、70周年記念配当5円を含んでおります。

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年2月20日付で、公募による新株式発行に伴う払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結会計期間において資本金が478,104千円、資本準備金が478,104千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,043,207千円、資本準備金が2,929,398千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成24年2月29日)

当社の報告セグメントは、「医薬品事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)

当社の報告セグメントは、「医薬品事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)
1株当たり四半期純利益金額	121円18銭	125円32銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,085,338	1,125,713
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,085,338	1,125,713
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,956	8,982

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年4月12日

ダイト株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 近藤 久晴 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中川 敏裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているダイト株式会社の平成24年6月1日から平成25年5月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年12月1日から平成25年2月28日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年6月1日から平成25年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ダイト株式会社及び連結子会社の平成25年2月28日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。